

避難時の心得

正確な情報収集と早めの避難を



テレビやラジオ、インターネット等で最新の気象情報や災害情報を確認して、危険を感じたら早めに避難しましょう。

避難は動きやすい服装で



持ち物はリュックに入れて、両手を自由に。長靴やサンダルはやめて、履き慣れた運動靴で避難しましょう。

戸締りを確認



避難時は、きちんと戸締りをしましょう。電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。

複数人で避難



避難は2人以上で。隣近所で声をかけ合い、「共助」の意識を持って、ともに行動しましょう。

安全な経路の選択



避難所まで安全に通行できるかどうか、避難経路は日頃から確認しておきましょう。

浸水箇所に注意



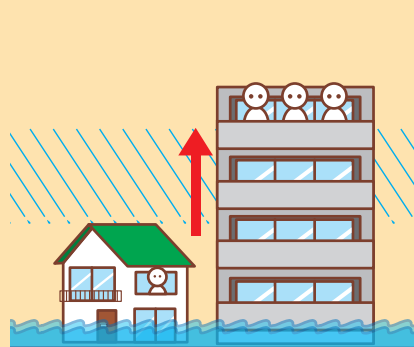
溝や水路、ふたの開いたマンホール等に落ちないように、長い棒で水面下を確認しながら歩きましょう。

車での避難は控える



車は浸水すると動けなくなり、緊急車両の通行の妨げとなります。特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

万が一、逃げ遅れたら



水深がひざ程度までであると大人でも歩くのが困難になります。建物の2階に逃げましょう。

みんなで支えよう



高齢者や身体の不自由な方等、災害時に助けが必要な方々が安全に避難できるように、地域で助け合いましょう。